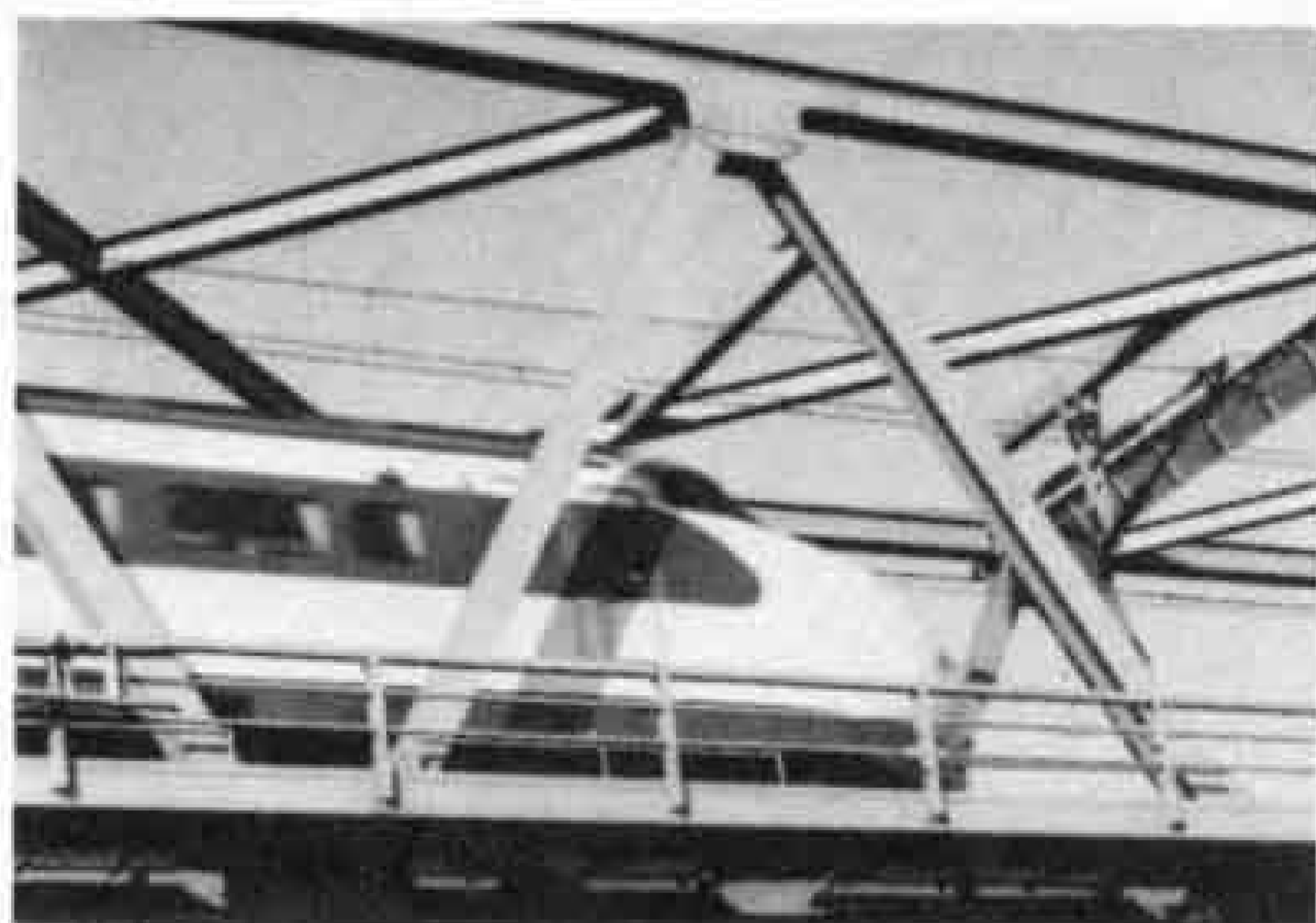




日本一長い新幹線富士川橋



△新幹線は景色を見るには速過ぎるかな

富士川は今でこそ水量も少なく、おとなしい川となっていますが、昔は日本三大急流の一つに数えられるほど流れの急な川でした。

その富士川には幾つもの橋がかかっていますが、南から2番目の東海道新幹線の富士川橋は、JRの鉄橋の中では日本一の長さです。

延長は1,373メートル。新幹線を静岡駅から新富士駅に向かい、富士川橋に差しかかると富士山が大変美しく見え出す地点でもあります。

しかし、何せ新幹線のスピードです。日本一の長さと言っても、約25秒ぐらいで通り過ぎてしまいます。



△「空き缶はくずかごへ入れるのよ」とお母さん

空き缶を捨てないで！ ポスター展を開催

県と市は、環境美化を進めるため、十一月二十四日から二十七日まで、ユニー吉原店で「空き缶等散乱防止ポスター展」を行いました。寄せられた作品は六十八点。中でも空き缶を印象深く扱った作品に優秀賞が贈られ、小学校の部は、富士南小六年の杉山明子さんほか二点、中学校の部は田子浦中二年の三谷純君ほか二点が受賞しました。



△通院は便利になったバスの御利用も

富士見台・鷹岡から 中央病院へ直通バス

一日の平均外来患者が千人弱を数える市立中央病院。外来患者用に二百三十六台の駐車場を用意してありますが、曜日によっては午前十時過ぎごろ大変混雑します。多くの市民の皆さんからバス路線の充実を求める声もあり、十二月中旬ごろから富士見台団地と鷹岡から直接中央病院へ向かうバス路線が新設されます。バスは、日・祝日を除く毎日、富士見台から三本、鷹岡の峰畑から四本、鷹岡本町から五本です。詳しくは富士急行へ。☎五三〇七六八



△内田初雄さん

けん玉名人 鈴川西町の内田さん

幼いころだれしも一度は手にしたことのあるけん玉。「それっ」と玉を上げ、うまく操れたときのうれしさは、皆さんも覚えがあると思います。でも、最近あまり見られなくなりました。鈴川西町の内田初雄さん（六十三歳）は、幼いときに身につけた三百からのわざを退職後に磨き、現在は県けん玉連盟富士支部長として普及に努めています。「集中力がつきストレスも解消します。子供たちにも教えたいため」と張り切っています。



かぐや姫がかぐや姫に!?

歴代ミスかぐや姫の皆さん

十一月十九日に行われた「ふるさと芸能祭」で、創作民謡「かぐや富士」が披露されました。踊り手はなんと歴代のミスかぐや姫の皆さん。今回は、吉原市民会館で練習を重ねた皆さんを訪ねてみました。

月かすみか雲か富士が嶺の...月太鼓や三味線・鼓などを使った、みやびやかな音色が練習場に響きます。「皆さんはミスかぐや姫ですから、本物のかぐや姫になったつもりでね。はい、月を見上げるよいうな目つき」と熱心に指導するのは、舞踊家の若柳吉以智さん（永田北町）。この舞踊の詞と振り付けを創作しました。作曲は長うたの専門家で東京の松島寿三郎さんによるものです。

若柳さんは、富士に伝わるかぐや姫の話を市民文化の向上に役立てられないかと考え、「かぐや富士」の誕生になりました。そして、「かぐや姫の舞踊はかぐや姫で」と歴代ミスかぐや姫の登場にもなったわけです。

かぐや姫の皆さんも乗り気で、今回は六十一年度の杉山みさきさん、六十二年度の土屋恭子さん・望月みゆき（旧姓丸山）さん、平成元年度の押尾美紀子さん・保坂早苗さん

△本番では見事に踊りました



んの五人が、練習に励みました。ふだんはおしとやかな彼女たちも、やはり現代っ子。日本舞踊は初めてとあって、「やわらかさをうまく表現できるかしら」（保坂さん）という心配もありましたが、本番では見事にクリア。「やさしい動きで踊りやすいです」（杉山さん）と太鼓判。機会があれば皆さんもどうぞ。